

＜2023 年度春季 文化体験・交流型プログラム＞
マラヤ大学
SUMMER ENRICHMENT PROGRAMME



【募集要項】

研修先（国・都市）	マラヤ大学（マレーシア・クアラルンプール）
研修期間	2024年2月19日（月）～3月8日（金）（約3週間） ※研修前後に個人的な旅行を含めることは認められません
プログラム名/コース名	Summer Enrichment Programme / English Language Courses
対象	全学部・全研究科・全学年 ※プログラム実施期間中に試験・再試・講義・実習等のある学生は参加できません
滞在方法	指定ホテル（マラヤ大学手配）
定員	20名程度 ※1名の場合は要相談
参加費用	US\$1,800 ※詳細は下記【その他注意事項】参照
単位付与	2単位 ※令和5年度卒業の方には単位付与できない場合があります。
奨学金 ※成績要件あり	福井大学学生海外派遣支援金対象（予定）6万円 ※予算の都合上、要件を満たしても受給できない場合があります。
学内申込締切	2023年12月8日（金）17:00 締切厳守！ ※オンライン参加申込送信と全ての書類の提出を以て参加申込完了とします。 ※期限内に送信および提出がない場合は申込を受付けません。

【マレーシアについて】

マレーシアは東南アジアに位置し、マレー半島南部とボルネオ島北部から構成されています。国土面積は日本よりひと回り小さい約 33.3 万平方キロメートル、人口は約 3,357 万人です。近年大きな経済成長を遂げており、ASEAN 諸国の中ではシンガポールに次いで豊かな国だと言われています。

また、多民族国家であるマレーシアには、マレー系、中華系、インド系など、複数の民族、宗教の人々が暮らしており、多様な価値観や生活様式に触れることができます。マレーシアで使用されている言語は、マレー語や中国語など民族によって異なりますが、準公用語として英語が用いられています。



【マレーシア】



【クアラルンプール】

【クアラルンプールについて】

クアラルンプールはマレー半島南部に位置するマレーシアの首都です。東南アジア有数の国際的な近代都市として開発が進められており、ペトロナスツインタワーのような近代建築とイギリス統治時代の趣きを感じられる建造物が混在するなど、新旧一体となった街並みが特徴的です。また、外国人観光客も多く、お店の店員なども英語を日常的に使っているため、日々実践的な会話を学ぶことができます。バスやモノレールといった交通網も発達しているので買い物や観光にも便利です。

【マラヤ大学について】

◆マレーシア最古&トップの国立大学◆

マラヤ大学は 1949 年に設立されたマレーシアで最古の国立大学であり、QS 世界大学ランキング 2023 では 70 位（アジアでは 19 位）にランクインした、マレーシア随一の最高学府です。学生数は 27,000 人を超え、17 の学部と研究機関を有しています。また、学内には博物館、植物園、広々とした図書館、スポーツ施設などがあります。国際色豊かなマラヤ大学は英語での開講授業も多く、学内表示もほとんどが英語とマレー語で併記されています。



【クアラルンプール近郊の観光地：バトゥカイブ】

【参加プログラムについて】

◆毎日 4 時間の総合的な英語学習プログラム◆

語学の授業は、Session1（9:00-11:00）と Session2（11:30-13:30）で構成されています。英語の 4 技能を総合的に伸ばすことを目的とし、異文化間でも自信を持ってコミュニケーションを取る経験を積むことができます。また、英語学習を通してマレーシアの豊かな文化への造詣も深めます。午後にはマレーシアの文化・歴史を学べるアクティビティに参加します。



【マラヤ大学 正門】

【過去の研修時の様子】



【その他注意事項】

■参加費用に含まれる費用

- ・空港送迎費（往復） ・現地授業料・教材費 ・フィールドトリップ代 ・現地滞在費（指定ホテル）
- ・食費（平日3食/日）※週末は含みません ・研修大学～現地滞在先間の交通費 など

■参加費用(プログラム参加費および滞在費)に含まれない費用

- ・往復航空券代および関連費*1 ・日本国内移動交通費 ・海外旅行保険料(福井大学指定)*2
- ・危機管理サービス利用料*3 ・参加費用支払手数料 ・海外渡航申請手続費用(パスポート申請など)
- ・海外用 SIM カード購入、レンタル Wi-Fi など海外でのインターネット通信環境整備にかかる費用*4
- ・手荷物超過料金 ・その他個人的支出 など ※変更になる場合があります

*1 往復航空券:参加者確定後、国際課が代理店を通して全員分を一括で購入します。日本発着日、経路、乗換回数、前泊後泊の有無などは状況によって変わり、参加者決定後に参加者に連絡します。また、関連費には燃油サーチャージ、空港施設利用料、代理店手数料等を含みます。フライトは全員同じ便を利用するため、研修前後に個人的な旅行を含めることは認めません。できるだけ安価な航空券の手配に努めますので各種制約については予めご了承ください。

*2 海外旅行保険料:大学指定の海外旅行保険(ジェイアイ傷害火災保険:取扱窓口 (株)アークスリーインターナショナル)への加入を全員必須としています。詳細は渡航約1カ月前に実施の事前オリエンテーションで案内しますので、個人で別の保険には加入しないでください。

*3 危機管理サービス利用料:海外旅行保険同様、参加者全員加入必須の危機管理サービスです。有事の際の安否確認やトラブル時の相談窓口となります。

*4 インターネット通信環境:学内、滞在先では Wifi が利用できます。その他の場所や移動時の利用を想定し、海外用 SIM カード等の購入は任意ですが、危機管理上、保険会社や大使館とのやりとりは電話連絡が基本となるため、海外でも携帯電話通話ができる状態、契約にしておくことを強くお勧めします。

■キャンセルについて

原則として、参加申込以降のキャンセルは受け付けません。

やむを得ない事情により参加をキャンセルする場合、プログラム費、滞在費、往復航空券代等にかかるキャンセル料は各手配先のポリシーマニュアルに基づき、参加者の自己負担となります。